

1 題材名 思いを「かたち」に～抽象表現に挑戦しよう～

2 題材について

生徒たちは風景画やデッサンなど、具体的な対象を描いたり、形作ったりという活動には親しんできた。一方で、形のないものや自分の思いを抽象的に表現する活動にはあまり馴染みがない。しかし、主題をよく練ることができれば、抽象表現は一人ひとりの個性や思いを直接表現するのに最適だと考える。そこで、技能も身に付き、受験や卒業を控え、自分自身を見つめなおす時期である3年生にぜひ挑戦させたいと考え、題材を選択した。

本題材では、篆刻の鈕づくりを通して抽象表現に挑戦させる。扱う材料は天然の柔らかい遼凍石である。一人ひとりが考えた主題を基に、石という硬いイメージのある素材を削り立体を形作る楽しさ、研磨することにより作品が光沢を放つほど綺麗に仕上がる達成感などを味わわせながら取り組ませたい。学習指導要領では「A表現」(1)のア(ア)「対象や事象を深く見詰め感じ取ったことや考えたこと、夢、創造や感情などの心の世界などを基に主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組合せなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。」、「A表現」(2)のア(ア)「材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追及して創造的に表すこと。」、「B鑑賞」(1)のア(ア)「造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。」、「(共通事項)ア「形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること」と関連付けた。主体的に主題を生み出させ、材料や用具の特性を生かして主題をデザインに昇華させたい。

生徒たちは写真を基に描く風景画や、使う目的や機能を考え表現の構想を練るルームプレートなどを制作してきた。デザインの課題自体には取り組んできているが、音や感情など形のないものに形を与えたり、単純化や省略、強調などを通して新たな形を生み出す抽象表現には初めて取り組む。そのため、形にしたい主題が生み出せなかったり、具体的に形があるものをそのままデザインにしてしまうことが予想される。そこで、アイデアスケッチの前に、ウェービングやブレンストーミングを利用して、形にしたい思いを探究させることで、主題を明確に生み出す助けとさせたい。また、主題とデザインを示した参考例を提示し、主題を具体的にデザインに落とし込む方法をつかませたい。

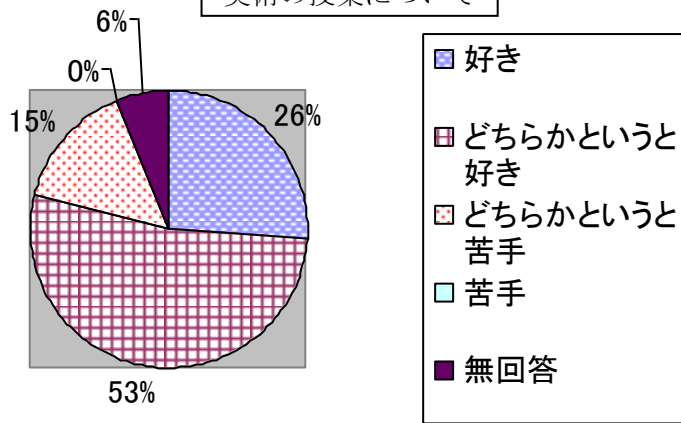
立体の造形では主にやすり、印刀、サンドペーパーを用いて形作る。意図に応じて用具を効果的に使い分け、表現する力を習得させたい。また立体物を削って作る上で、多面的に形を把握することが必要不可欠である。展開図をしっかりと石に描かせて、色々な角度から作品を観察し、制作の順序を考え、見通しを持って表現する力を身に付けさせたい。

3 生徒の実態(男子19名 女子15名 計34名)

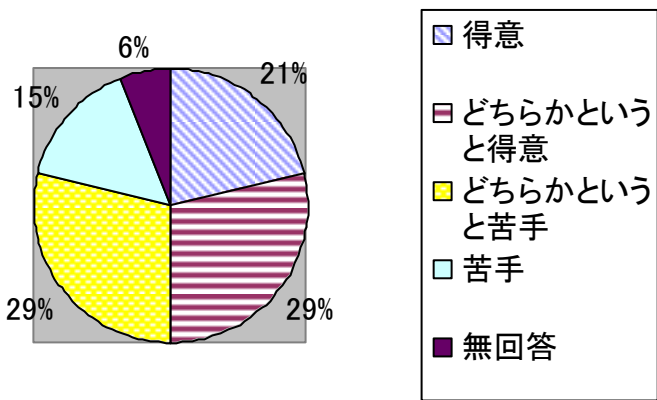
本学級の生徒は活発な学習態度で課題に前向きで、美術の授業においても制作に熱心に取り組む。教師の問いかけに対しても積極的に発言し、わからない箇所があれば自ら助言を求めて向上しようとする姿が多く見受けられる。生徒同士の関係も良好で、制作している作品について意見を言い合う姿も見受けられる。事前に行ったアンケートでは、美術の授業が好きと答えた生徒が9人(26%)、どちらかという好きと答えた生徒が18人(53%)、どちらかという苦手と答えた生徒が5人(15%)、苦手と答えた生徒が0人(0%)で、8割近い生徒が美術の授業に対して前向きな回答だった。「自分のオリジナルのデザインで作品を作るのが楽しい」というコメントも多く、制作意欲の高さがうかがえる。

また、対象を観て絵を描くことが得意と答えた生徒7人(21%)、どちらかというと得意と答えた生徒が10人(29%)、どちらかという苦手と答えた生徒が10人(29%)、苦手と答えた生徒が5人(15%)であった。粘土などを用いて立体物を作るのが得意と答えた生徒が4人(12%)、どちらかという得意と答えた生徒が13人(38%)、どちらかという苦手と答えた生徒が14人(41%)、苦手と答えた生徒が1人(3%)で、どちらのアンケート項目も苦手意識を持っている生徒は半分弱であった。本題材では、思いをもとに形を生み出すことになるので、生徒一人ひとりとよくカウンセリングして、様々な角度からアイデアスケッチを描かせて、鈕の制作に取り組ませたい。

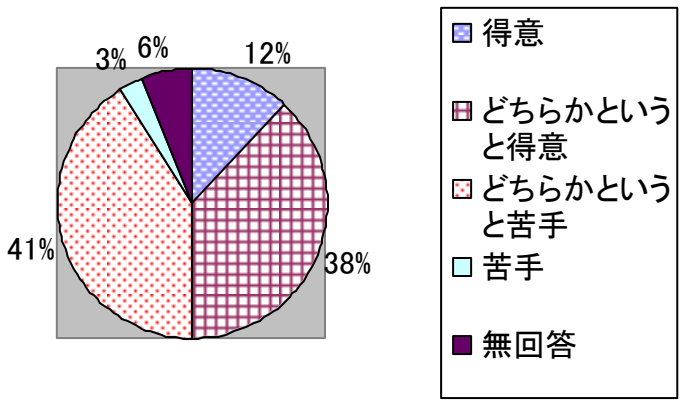
美術の授業について



対象を観て絵を描く



立体物を作る



平成31年4月18日アンケート実施

4 題材の目標

(1) 知識・技能	(2) 思考・判断・表現	(3) 主体的に学習に取り組む態度
○材料や用具の特性を生かし、	○単純化や省略、強調、変形な	○材料の特性を生かし、自分の

<p>アイデアスケッチを基に、制作の順序などを総合的に考えながら見直しをもって制作している。</p>	<p>どを考え、心豊かな表現の構想を練っている。 ○自他の作品の良さや美しさを感じ取り、自分の価値意識をもって味わっている。</p>	<p>考えや思いを石材に工夫して表現しようとしている。</p>
--	--	---------------------------------

5 指導計画（14時間扱い）

- 篆刻の概要と制作手順を学び、ウェビングマップを通してアイデアの発想を広げる。————— 1
- 抽象表現のポイントを学び、立体図と展開図をアイデアスケッチする。————— 2
- 立体的に形を捉えながら、材料や用具の特性を生かして彫刻する。————— 5
- 順序良くやすりをかけ、傷が残らないように研磨する。————— 1
- 自分の作品や他者の作品を鑑賞し、良さや美しさを感じ取る。—————（本時） 1
- 赤と白のバランスや余白を考え、印面のデザインを自由に発想し、表現の構想を練る。———— 1
- 削り方を理解し、材料や用具の特性を生かして彫刻する。————— 3

6 材料と用具

材料	用具
遼凍石	印刀、やすり、サンドペーパー、研磨剤 など

7 本時の目標

（1）目標

- 自他の作品の良さや美しさを感じ取り、自分の価値意識をもって味わうことができる。
(思考・判断・表現)

（2）展開（10／14）

時配	学習活動	教師の指導・支援	資料(・)と評価(◇)
導入 5分	<p>1 自分の作品を確認し、本時の課題と内容を知る。</p> <p>○鑑賞会の流れについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品をセッティングする。 ・班の中で作品を鑑賞する。 ・全体で作品を鑑賞する。 <p>○鑑賞のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抽象表現になっているか ・立体に魅力があるか ・キャプションの良さはどうか 	<p>○本時の課題と活動の進め方を確認する。</p> <p>○鑑賞のポイントを板書で説明する。</p>	
展開 35分	<p>小中台彫刻美術館～お互いの作品を鑑賞して、良さや美しさを味わおう～</p>		
	2 作品をセッティングする。	○セッティング方法を板書で説明	

	<p>3 班(4人編成)の中で作品を鑑賞し、3種類の項目で色分けしたシールをキャプションに貼る。</p> <p>※班での鑑賞では、<u>一人が同じ作品に3種類ともシールを貼るのは不可とする。</u></p> <p>① 赤：抽象表現が良かった ② 緑：形が良かった ③ 青：キャプションが良かった</p> <p>4 全体で作品を鑑賞し、感想を記入しながら、気に入った作品のキャプションにシールを貼る。</p> <p>・シールは一人各項目1枚、計3枚</p> <p>※全体での鑑賞では、<u>一人が同じ作品に3種類ともシールを貼っても良い。</u></p>	<p>する。</p> <p>○作品だけでなく、キャプションも良く見るように声掛けする。</p> <p>○巡回しながら、鑑賞のポイントを声掛けする。</p> <p>○シールは、作品を一通り鑑賞してから貼るように声掛けする。</p>	<p>・カラーシール3種類</p> <p>◇他者の作品の良さや美しさを感じ取り、自分の価値意識で味わい、感想を記入している。 (思)</p> <p>【プリント・発言】</p>
<p>終末 10分</p>	<p>5 シールが最も多かった生徒の作品を紹介する。</p> <p>6 座席をもとに戻す。</p> <p>7 本時の活動と制作を振り返り、ワークシートに記入する。</p>	<p>○書画カメラを用いて、作品を見やすく展示する。</p> <p>○教師が作品のキャプションを読み、制作の感想を生徒に聞く。</p> <p>○作品が壊れないように注意して片づける声掛けをする。</p> <p>○本時の振り返りをするとともに、次時の内容を説明して期待をもたせる。</p>	<p>・書画カメラ</p> <p>◇自分の制作を振り返り、作品の良さを見つめなおしている。 (思) 【プリント】</p>

板書計画

<p>小中台彫刻美術館～お互いの作品を鑑賞して、良さや美しさを味わおう～</p>	
<p>鑑賞のポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・抽象表現になっているか 思いから新しい形を生み出しているか ・立体に魅力があるか 形の要素、直線美・曲線美、表面の磨きの美しさ ・キャプションの良さはどうか 作者の思いが伝わってくるか
<p>作品のセッティング方法</p>	<p>机の上に椅子を置く。</p> <p>椅子の上に台紙を敷き、両面テープで作品を固定する。</p> <p>キャプションを台座の側面に張り付ける。</p>